

十五夜に
空見上げると
まんまるに
ふくぶく太った
満月見えるよ

さくら



ふくぶくふくと
ったまんげつ
みえるよ

秋の夜に
窓を開けたら
ひしひしと
肌で感じた
冬の近づき

ゆっけ



はだでかん
じたふゆの
ちかづき

赤とんぼ
涼しき風が
頬を撫でて
夏の思い出
心に永遠に

むぎまっちや



なつのおも
いでここに
にとわに

このキセキ
枯れ葉の絨毯
踏みしめて
友と歩んだ
思い出のあと

もち



ともとあゆ
んだおもい
でのあと

長休み
春夏秋冬あり
秋はない
この時期思うが
なぜなんだ

にちや



このじきお
もうがなぜ
なんだ